

ありがとう

【教育目標】

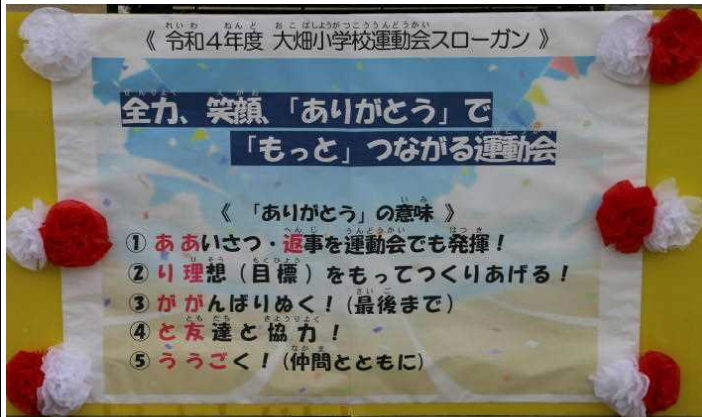
○夢や目標に向かって、仲間とともに主体的に学ぶ児童・生徒の育成

【合い言葉】

○「ありがとう」でもっとつながる大畑小

発行 大畑小校長 森下秀一

合同運動会での学びをつなぐ



合同運動会では、子どもたちへの温かいご声援本当にありがとうございました。

また、前日の準備から火曜日の後片付けまで、たいへんお世話になりました。

お陰様で、最後まで滞りなく合同運動会を終了することができました。

さて、今回の合同運動会の大畑小学校のスローガンは、左にあるように**【全力、笑顔、「ありがとう」で「もっと」つながる運動会】**でした。

児童会運営委員会の子どもたちが代表委員会を開き、スローガン決定直後に校長室まで報告に来てくれました。各学級から出た運動会のキーワードを全部使う工夫をしたそうです。全員の気持ちがこもった力強いスローガンに感心しました。

このスローガンを達成するために、**練習前に、毎回個人の目標を立てて練習に取り組みました。**本校の運動会は合同運動会のため、他小学校の運動会より1週間早く行われました。つまり、練習期間が1週間短かったわけです。練習回数は6回です。たった6回かもしれませんが、**目標をもって行う練習は、子どもたちを大きく成長させました。**

例えば1年生ですが、1回目の開閉会式の練習ではなかなか話を聞くことができませんでした。また、号令があってもすぐには動けませんでした。無理ありません。1月半前までまだ未就学児だったのですから・・・。

しかし、練習を重ねるにつれて、がんばりぬく力がどんどんついてきました。1年生の成長をとてもうれしく感じました。

本校の児童に育てたい資質・能力の一つは「やりぬく力」です。**やりぬく力は、一つのことをやりぬく経験を積み重ねることで育っていくのだと、1年生の姿を見て改めて学びました。**

運動会は、練習量から考えると学校行事の中で最も大きい行事です。この行事での子どもの成長をつないでいくことが本物の力を育てることになると職員と共通理解を図りました。

現在、学級ごとに新たな目標を立てて、次のステップに進んでいます。

先日、人吉市の松岡市長が本校の児童の様子を見に来られました。

「どの学級もとても雰囲気がいいですね。」と、お褒めの言葉をいただきました。

今後、全学年を通して力を入れていくのは、**授業での4つの共通実践事項**です。

6月15日の5年生の研究授業を皮切りに本年度の研究を本格的に進めていきます。

お気づきがあったら、皆様方からもたくさん教えていただきたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

＜授業での4つの共通実践事項＞

- 1 子どもと教師の出番は7：3
- 2 全員参加の対話活動
- 3 対話を活かした書く活動
- 4 成長を実感させる調査活動

たくましくなった2年生（掃除中の一コマ）



掃除の時間でした。校長室の前の廊下からタッタッタッタとリズムカルな音がしました。

ドアを開けて見てみると、二人の2年生（ようすけさんとまひろさん）が競争するかのよう廊下を雑巾でふき上げていました。

二人の額は汗びっしょりでした。一生懸命掃除をがんばっていたので、思わず写真を撮りました。

結局この日に二人が長い廊下をふき上げた回数は20回以上でした。二人が掃除をした後の廊下は、ぴかぴかに輝いていました。

雨が多く室内が結露で湿りがちになるこの時期に、この二人のように一生懸命掃除をしてくれることとは、学校の安全にもつながります。2年生のがんばりに感謝です。

心のきずなを深める月間

熊本県は、6月を「心のきずなを深める月間」として、学校ばかりでなく家庭や地域でも人権を大切に作る取組を行う期間として位置付けています。

- 1 心のアンケートの実施
- 2 大畑小教育相談の実施
- 3 学級と個人の人権目標の設定
- 4 人権学習の実施
- 5 「ありがとうの大畑小」の作成
(学級や友達のよさを見つめ直す)
- 6 全校集会の実施
- 7 人権標語の募集

本校でも左に示している取組を行っていきます。

以前、国立教育政策研究所の衝撃的なデータが私たちに示されたことがあります。

研究所の「いじめ追跡調査」によると、小学4年生から中学3年生までの6年間で、いじめにあったことがある子どもは9割で、いじめに関わったことがある子どもも9割に及ぶというのです。

文部科学省からも、いじめは「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」ものであることを十分認識して徹底して取り組むように通知が来ています。

私たちは、「弱いものをいじめることは人間として絶対に許されない」との強い認識を持ち、子どもの悩みを親身になって受け止め、子どもの発する危険信号をあらゆる機会を捉えて感知するよう努めます。

しかし、いじめの問題は学校の枠だけでは対処できないのも事実です。

先日、いじめに関する文書を読んでいたら、いじめが起きる原因を3つにまとめてありました。1つ目が過度のストレス、2つ目が異質な物への嫌悪感情、3つ目が妬みや嫉妬心です。日常生活の中で多かれ少なかれ人間が経験することや感情なのではないかと思うのです。

だからこそ、いじめの問題の解消や解決のためには家庭の役割が極めて重要であると考えます。家庭の深い愛情や精神的な支え、信頼に基づく厳しさ、親子の会話や触れ合いの確保が子どもの心の安定には必要だと思ふのです。

ぜひこの機会に、子どもたちの学校での学びについて話を聞いたり、親子で一緒に人権標語を考えてみたりして、親子の心のきずなも深める期間にさせていただきたいと思ふます。



寄付をいただきました

先日、下漆田町の東正守様から大畑小学校と第三中学校に寄付をしていただきました。

開校150周年記念に向けて、大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。